



私達は、未来を創る 再エネ商社です。

太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの販売・施工・
保守・管理・電力売買を一貫して、ワンストップで行う、日本を代表する再エネ商社を目指し、業務に専念してまいります。

DENKA THINKING

デンカシンキ(DENKA)の未来を思考(THINKING)するビジョンは、
社名の頭文字である「D」にちなんで、「3つのDから始まる未来の実現」を考えています。

DECARBONIZATION × DECENTRALIZATION × DIGITALIZATION
脱炭素化 分散化 デジタル化

再エネ商社
Denkasinki

〔商号〕株式会社 デンカシンキ
〔創業〕2000年4月
〔設立〕2002年10月
〔資本金〕50,000,000円
〔本社〕愛媛県松山市南吉田町30-1
〔連絡先〕089-905-6575
〔代表者〕代表取締役社長 木村 賢太
〔従業員数〕51名(令和2年9月現在)
〔事業内容〕太陽光発電システム設計・製造・販売
申請・施工・保守・管理

再エネ思考電力

〔商号〕株式会社 再エネ思考電力
〔設立〕2019年10月15日
〔資本金〕11,000,000円
〔本社〕愛媛県松山市南吉田町30-1
〔連絡先〕089-908-5501
〔代表者〕代表取締役社長 木村 賢太
〔事業内容〕電力小売事業／電力買取事業
再生可能エネルギーを使用した商品の
企画・開発・販売



Message from CEO

創業以来、お客様や企業の方々に心温かいご支援をいただき感謝申し上げます。
弊社は、2000年に給湯設備のメンテナンス業から始まり今年で21年を迎えるまだまだ小さな企業です。
この20年間で沢山の方々に会う機会に恵まれ感動を共にし、又お叱りを受け成長させていただきました。
あつという間の20年間でしたが、弊社にとって何事にも変えることのできない一番の財産だと思っております。
弊社には今、社員一丸となって達成すべき目標があります。
それは太陽光発電事業において、どこの企業にも負けない信頼を勝ち取る事です。
エネルギー事業は、これからも益々必要とされる事業です。
ただ必要とされるからこそ、裏切ってはいけない "仕事に対する誠実さ" が大切だと思います。
私たちは、便利な時代に生まれてきました。
この便利な時代を創ってくれた、私たちの両親の世代や、祖父母の世代の人達に感謝します。
ただ、便利さと引き換えに大切な地球の環境を傷つけてしまったのかもしれない。
それを私たちの世代で気づき、修正する。
自然エネルギーには、太陽光発電・風力発電・水力発電・地熱発電と色々ありますが、
私たちは、太陽光発電事業を中心に地球環境の未来を創造してゆく企業に成りたいと思います。

株式会社デンカシンキ 代表取締役社長

木村 賢太



日本の屋根にソーラーイノベーションを！ 太陽光でつながるコミュニティ。

フリーソーラーPROJECTは、再エネ推進企業がシステムオーナーとなり、住宅オーナー様は、システム設置に対する出費は一切ありません。

設置後は、デンカシンキが開発した発電決済という決済方法に基づき、数年で再エネ推進企業から住宅オーナー様へ無償譲渡されます。

フリーソーラー PROJECT

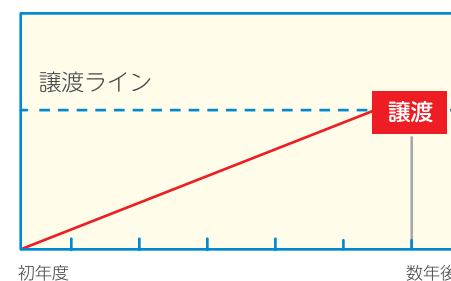
PPA事業国内トップクラス 設置実績数 約 **4,500** 軒 (2021年6月調べ)



デンカシンキだけの発電決済

発電された電気を家庭内で使っても余っても、弊社規定価格/1kWh換算で蓄積されます。

消費電力・余剰電力ともに1kWh当り、弊社規定価格で換算し、その累積値が設置した太陽光発電システムの実質設置価格に達した時点で、システムを需要家様に譲渡いたします。



フリーソーラーPROJECT 誕生エピソード

デンカシンキが、太陽光パネル製造を行っていた2015年当時、海外パネルメーカーの予想を超える価格低下をうけ、自社パネルの販売数が激減。在庫が急激に増加する自体に頭を抱えていました。そこで在庫パネルを処分するため、アメリカで主流だった「第三者モデル」という太陽光発電の設置方法に着目！日本の住宅向けに「発電決済」という自社オリジナル要素を加えたフリーソーラーPROJECTを開発し、個人投資家や大企業に猛アピールを行いました。

メガソーラーが主流だった当初は、住宅用の第三者所有モデルは理解していただけず、試行錯誤を繰り返す日々が続きましたが、大手企業様の参画を機に「日本で成功している唯一の住宅用PV第三者所有モデル」として認知され、現在では、お客様・投資家様・大手企業様の大きな支えによって、国内トップクラスのPPA事業への発展と至ります。

フリーソーラーPROJECTは、在庫に悩んでいた当社の逆転の一手となりました！



工場等の屋根上スペースで大規模発電、太陽光発電を0円で導入できます。

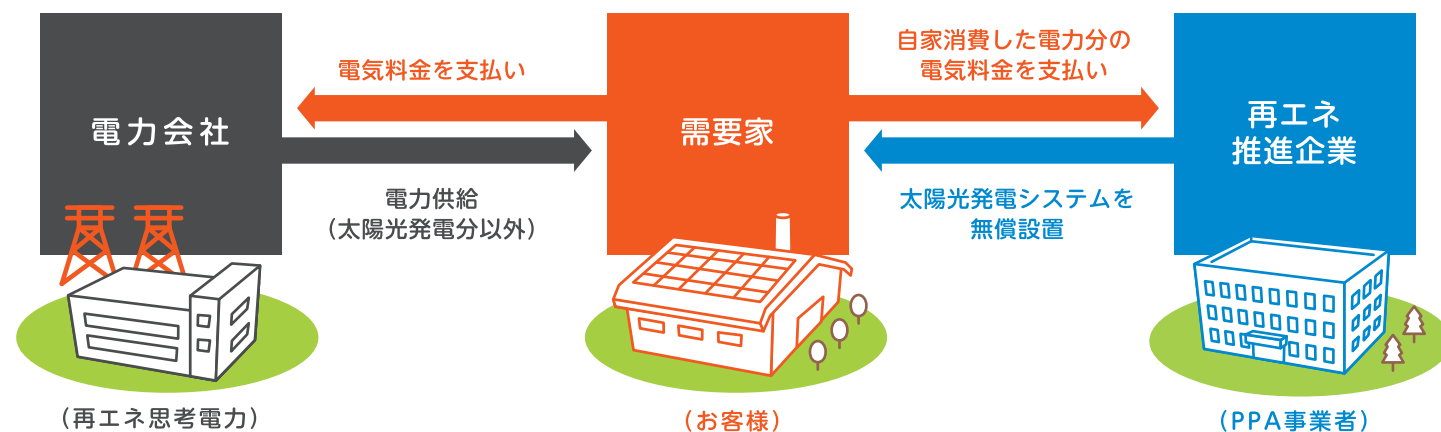
企業でのRE100加盟やSDGs達成への貢献が期待できます。



RE100 SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

RE100に加盟するための条件の一部を満たすことができたり、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成に貢献ができます。

PPAモデルも消費電力は太陽光発電によるものですので、温室効果ガスの排出量が少ない再生可能エネルギーを利用していることとなります。



需要家様の屋根スペースに、再エネ推進企業の資金で、デンカシンキが太陽光発電システムを無償設置・保守を行います。また同時に、需要家は設置された太陽光発電システムで発電した電力を使用(購入)し、使用した分の電気代を再エネ推進企業に支払います。

契約期間満了後には、設置された太陽光発電システムが需要家様に無償譲渡されます。

● 初期投資や管理コストがゼロで、リスクを抱えない。

設備の購入・設置費用を需要家様にご用意いただく必要がないため、初期投資や保守にかかる管理コストがかかりません。

● 自家消費の電力を今までと同水準または、より安く購入いただけます。

需要家様にご利用いただく自家消費電力料金を出来る限り設置前よりおトクにご提供させていただきます。

※需要家様が現在、ご契約中の電力契約によっては料金が高くなる場合がございます。予めご了承くださいませ。

● 電気料金を支払う延長線上の契約であり、細かな計上が必要ありません。

需要家様(お客様)には設備導入だけでなく保守にもコストがかかりません。そのためメンテナンス管理の煩雑さが無く、手間もございません。

● RE100加盟やSDGs達成への貢献が期待できます。

消費電力は太陽光発電によるもので、温室効果ガスの排出量が少ない再生可能エネルギーを利用していることになります。

そのため、RE100(使用電力を全て再生可能エネルギーで発電した電力でまかなおうとしている企業の集まり)に加盟するための条件の一部を満たすことができたり、SDGs(持続可能な開発目標)の目標達成に貢献しているアピール材料にすることができます。

● 再エネ賦課金を含む電力の購入量を減らすことができます。

現在、需要家様が電力会社にお支払いされている電気料金には、「再エネ賦課金(再生可能エネルギー賦課金)」という費用が含まれていますが、自家消費された電力分のお支払いには、この再エネ賦課金を払う必要がなくなります。

● 契約期間が満了した際に設備が譲渡されます。

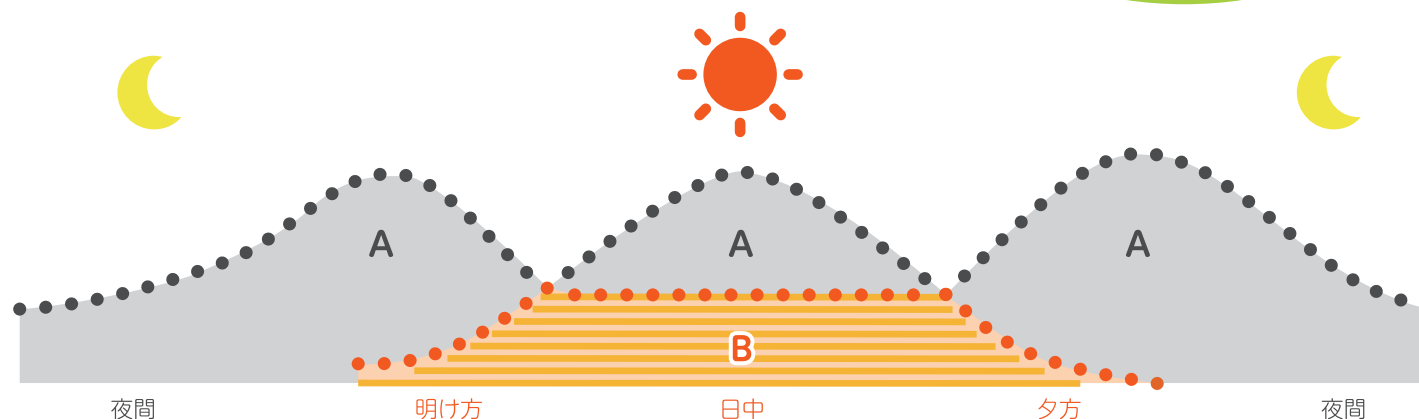
契約期間満了後、太陽光発電設備の所有権が再エネ推進企業(PPA事業者)から需要者に譲渡されます。

● 電力購入量の減少により、電気料金の削減が見込めます。

A 不足分電力 太陽光発電分以外の電力

B 自家消費電力 フリーソーラー発電のうち、需要家様のご使用された電力

自家消費の電力を今までと同水準または、より安くご提供いたします。
また、電力の購入量を減らすことで再エネ賦課金お支払いの削減にもなります。



お客様のコストニーズに応えながらも 決して品質を落とす事はいたしません。

施工件数延べ10,000件超の幅広い知識を持つエンジニア集団による施工。



デンカシンキが携わった施工件数は、10,000件を超え、得意とする太陽光発電システムの施工件数は、住宅用小規模太陽光発電システムからメガソーラーまで施工件数7,000件を超える実績を誇ります。

住宅用
太陽光発電
7,600件
PHOTOVOLTAIC
HOUSING

産業用
太陽光発電所
160件
INDUSTRIAL SOLAR
POWER PLANT

住宅用
蓄電池システム
450件
STORAGE
BATTERY

オール電化
1,500件
ALL ELECTRIC
HOUSE

リフォーム
500件
RENOVATION



様々な現場に対応できるよう、
架台を幅広くご用意。

綿密な計画に沿った現場特有の諸条件に
合わせ、いくつかの架台メーカーと取引さ
せていただき、案件に対応しております。



100件を超える産業用太陽光
発電所の実績を有しています。

特に、四国や関東地域で受注いただき、メ
ガソーラー・低圧産業用太陽光発電所をあ
わせて162件の施工実績を有しています。



創られた電気を貯める蓄電シ
ステムもお任せください。

お家を丸ごとバックアップのできる大容量
蓄電池システムから屋内用のコンパクトサ
イズまで幅広いご用意がございます。



設計から施工・管理・メンテナンスまで、ワンストップ。



優良な協力会社とも連携し、全国対応を可能にしています。

本来の性能を発揮できるよう、 しっかりとメンテナンスいたします。

故障しない工業製品は存在しません、正しい点検でこそ長く使えます。



太陽電池モジュール

異常・故障・不具合の有無/モジュールと架
台の隙間に異物の有無/必要あれば、異物
の除去までさせていただきます。



パワーコンディショナ

動作確認/通気の状態/周辺の可燃性ガス
や引火物の有無/異常音・異常加熱・振動・
異臭の有無/サビ・汚れの有無/瞬時発電
電力/積算電力量

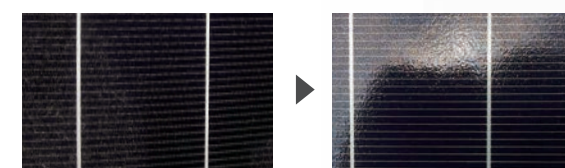


接続箱

配線・アース工事の不具合/サビ・汚れの有
無/フタの破損・変形の有無

パネル清掃サービス

砂・花粉・鳥の糞等、雨では落ちにくい汚れを一枚一枚丁寧に手作業で落します。



長い期間にこびりつ
いた砂や汚れなどを発電
の妨げにならないよう
にしっかりと清掃します。



再エネ思考電力

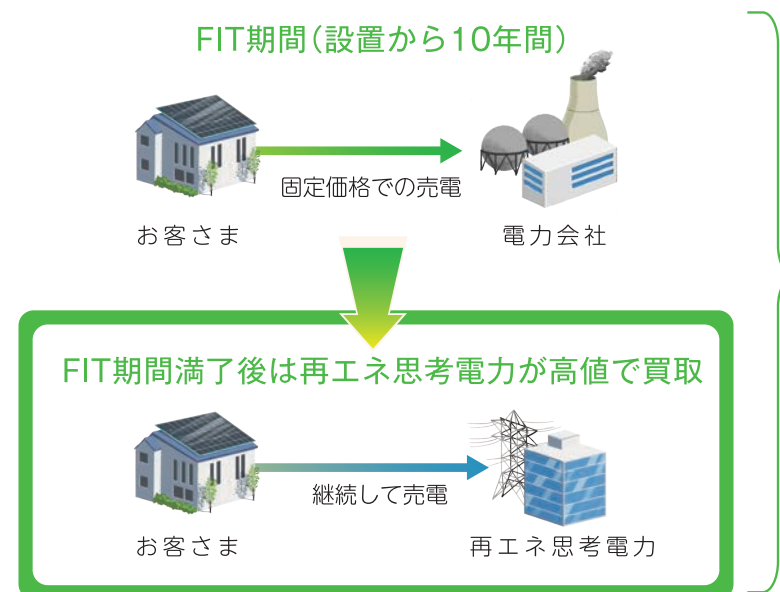
屋根の上から、やさしい電力を。

屋根上で生まれた 電力100%の実現を考える 「屋根上の電力会社」です。

一つひとつの家の屋根に設置されたソーラーパネル。そこから生まれた電気でおうちの利用をまかなう。昼に蓄電すれば、夜間の利用も安心。EV車なら、移動式の蓄電池にもできる。余った電気は周りにおすそわけ。そんな、小さなコミュニティで発電と利用が、完結する未来を目指します。

今はまだむずかしいけれど、 みんなと一緒に育てて行きたい未来です。

最小分散型で屋根上発電100%を実現した先にあるのは、次の世代にきれいな地球を渡していくことにほかなりません。2040年には、完全に屋根上のソーラー経由で生まれた電気のみでの供給をめざし、未来の電気のあるべき姿を創造したいと思っています。もちろん、これは私たちだけで実現できることではありません。同じ想いを持ってもらえる方々と一緒に再エネを思考し、形にしていきたいと考えています。



なぜ屋根上の太陽光なの？

私たちの考え
1

環境と景観を守る
発電だから。

屋根上のソーラーは、山や自然を切り開くことなく
すでにある場所を有効に使う太陽発電。
限りある環境を守り、景観もそこないません。

私たちの考え
2

みんなでつくって
無駄なく使えるから。

IT技術で電気の需要と供給が見える化し、
必要な時、必要なところに、
必要なだけ電気を互いに送電。
自分たちが使う電気を自分たちで作り、
無駄なく使えます。

私たちの考え
3

災害やトラブルにも
強いから。

大きな発電所から大量に送電する集中型電源から、
屋根上の小さな発電所が無数にある分散型電源へ。
災害などで、主要電力ストップによる
停電リスクに備えられます。

私たちの考え
4

地球の未来を
守りたいから。

太陽光は、環境負荷がまったくない発電方法。
持続可能な社会へ貢献するために、
いちばん適した発電方法だと考えています。

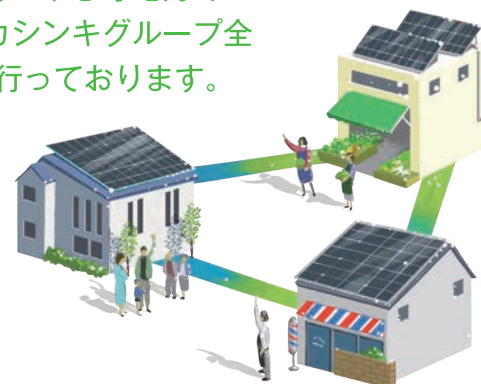
みんなで一緒に、
屋根上で生まれた電力100%の社会実現へ。

屋根上の電力でひろがるコミュニティ、 「創る・使う・繋がる」再エネパートナー。



屋根上の電力でひろがるコミュニティ、 「創る・使う・繋がる」再エネパートナー。

フリーソーラーPROJECTでの太陽光発電システム設置や再エネ思考電力での非化石証書を活用した環境価値をもつ電力の提供など、デンカシンキグループ全体で、持続可能な脱炭素社会に向け、より実践的な取り組みを行っております。



法人向けフリーソーラーをFC化。 「再パFC」を募集中。

フランチャイズ

2016年から開始したフリーソーラープロジェクト(住宅用)が全国で普及。日本で成功している唯一の住宅PPAモデルとして大手企業複数社から相談を受け、ビジネスモデルを公開し、モデルの普及に貢献しております。2021年6月より法人向けのフリーソーラープロジェクトの全国展開に向け「再エネパートナー【再パFC】」の募集を開始しました。まずは、全国各エリアで16社のパートナーを募集いたします。



DENKA THINKING

社名の頭文字である「D」にちなんで、
3つのDから始まる未来の実現を。

デンカシンキ (DENKA) の未来を思考 (THINKING) するビジョン。



DECARBONIZATION 脱炭素化 × DECENTRALIZATION 分散化 × DIGITALIZATION デジタル化

DECARBONIZATION 脱炭素化

CO2削減につながる再生可能エネルギー。

日本で使われる電気の多くは化石燃料の輸入に頼っている状態です。

しかし、水力・風力・地熱・太陽光などの再生可能エネルギーは、自然豊かな日本に豊富に存在しています。この中でも私たちが、着目したのが太陽光です。

日本全国の屋根で電気を生み出せば、その地域のエネルギーを地域でまかなうことができます。そして経済の活性化にもつながり、エネルギーの自給率を高めるとともに、CO2の排出量を大幅に削減することも可能になると考えています。

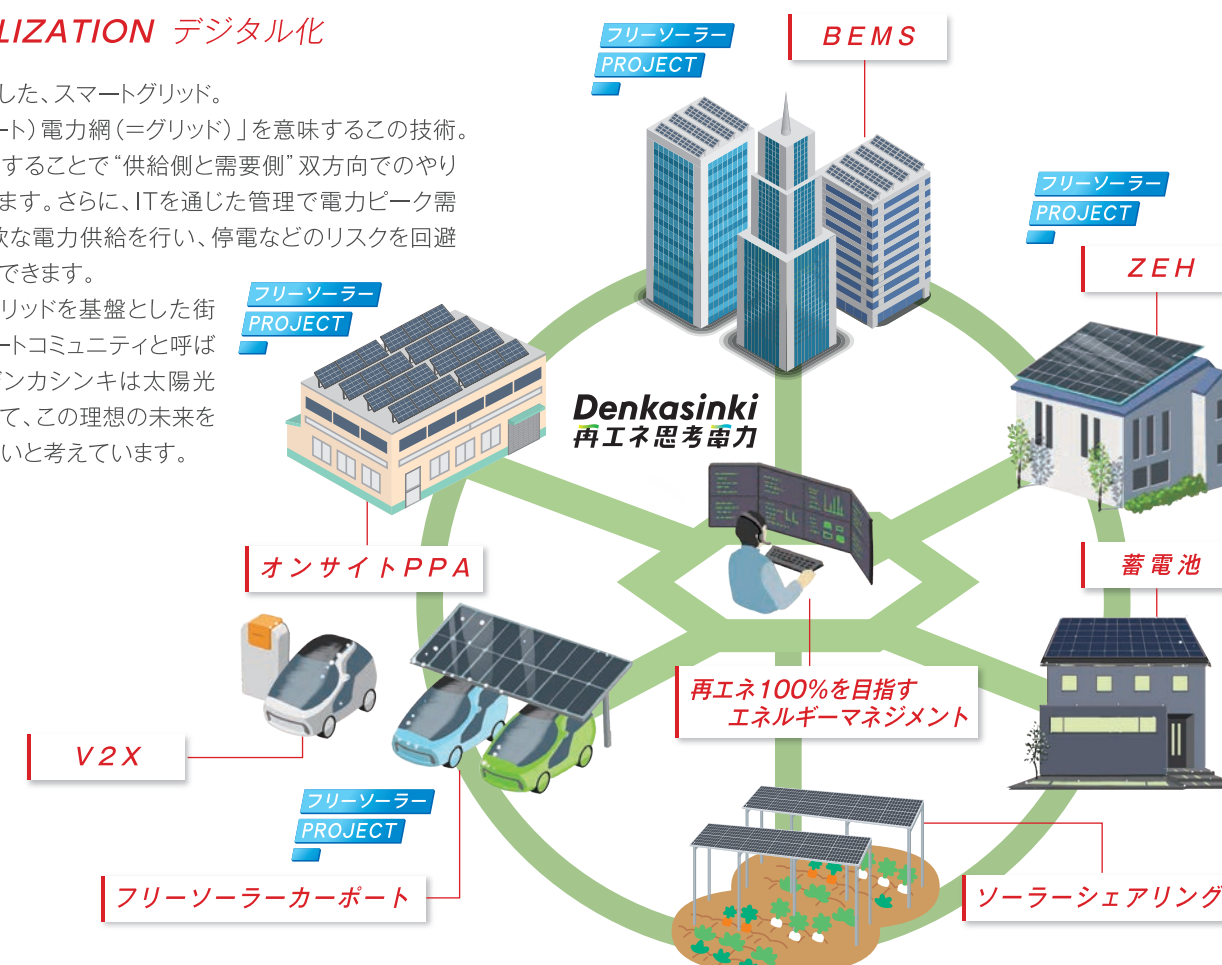


DIGITALIZATION デジタル化

IoT機器を活用した、スマートグリッド。

「賢い(=スマート)電力網(=グリッド)」を意味するこの技術。IoT機器を活用することで「供給側と需要側」双方向でのやりとりを可能にします。さらに、ITを通じた管理で電力ピーク需要に合わせ柔軟な電力供給を行い、停電などのリスクを回避することも期待できます。

このスマートグリッドを基盤とした街づくりは、スマートコミュニティと呼ばれています。デンカシンキは太陽光発電を起点として、この理想の未来を実現していきたいと考えています。



DECENTRALIZATION 分散化

供給地点に最も近い発電設備。

私たちの暮らしを支える電気は、大きな発電所によって大規模集中型でつくられていますが、災害の際は運転停止により広範囲かつ長期間の停電が発生する事例がありました。

しかし、それぞれの太陽発電から電気を集めてつかう小規模分散型であれば、災害時に電力供給が途絶えても地域ごとに自力で発電が可能になります。

私たちは太陽光発電を通じ、小規模分散化をあらゆる地域で実現していきたいと考える会社。もし近隣の家で生まれた電気を消費する場合、近くで発電するので送電の際に発生するロスも少なく、災害に強く効率の良い供給が可能になります。

